

質問と回答

平成 20 年度 武蔵野市男女共同参画に関する意識調査

日頃、市の男女共同参画施策推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
武蔵野市では、市民のみなさまのご意見・ご要望を男女共同参画施策推進に反映させていくために、「平成 20 年度 武蔵野市男女共同参画に関する意識調査」を行うことになりました。

調査の対象者は、住民基本台帳から無作為に満 20 歳以上の男女 1,500 人のみなさまを選ばせていただきました。調査結果はすべて数字だけで統計的処理をいたしますので、個人が特定されることはありません。この調査目的にのみ使用し、他の目的で使われることは一切ございません。

お忙しいところ恐縮ですが、よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 20 年 7 月

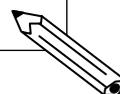
武蔵野市長

邑上守正

ご記入にあたってのお願い

1. 対象となったご本人がお答えください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. 回答は最初から 1 問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので()内のことわり書きをよくお読みください。
4. お答えは、あてはまる番号に 印をつけてください。
5. 質問によって、 をつける数を「ひとつ」「いくつでも」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えくださるようお願いいたします。
6. 「その他」にあてはまる場合は、()内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

ご記入がおわりましたら...



ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて 7月28日(月)までにご投函ください(切手は貼る必要ありません)。

なお、調査の内容、考え方、記入の仕方などについて、わからないことがございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

武蔵野市企画政策室

市民協働推進課 男女共同参画担当

〒180-8777

武蔵野市緑町 2 - 2 - 28

電話

(0422) 60 - 1869

FAX

(0422) 51 - 9540

家事・育児・介護についておたずねします

問1 あなたの理想として、男女の仕事と家事・育児・介護の役割分担は、この中のどれがもっとも望ましいと思いますか。(1つに)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 男は仕事、女は家事・育児・介護を分担する	17.0%	14.0%	22.8%
2. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに女が分担する	5.3%	3.4%	7.9%
3. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も平等に分担する	61.7%	67.4%	53.0%
4. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに男が分担する	0.5%	0.3%	1.0%
5. 女は仕事、男は家事・育児・介護を分担する	0.2%	0.0%	0.5%
6. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はなるべく家事・育児・介護サービスによってまかなう	6.4%	7.0%	5.4%
7. わからない	6.6%	6.4%	7.4%
無回答	2.2%	1.5%	2.0%

問2 あなたのご家庭では、現在、仕事と家事・育児・介護の役割分担をどのようにしていますか。(1つに)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 男は仕事、女は家事・育児・介護を分担している	24.5%	24.4%	25.7%
2. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに女が分担している	15.2%	16.8%	13.9%
3. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も平等に分担している	12.1%	8.5%	17.3%
4. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに男が分担している	0.4%	0.0%	1.0%
5. 女は仕事、男は家事・育児・介護を分担している	0.4%	0.0%	1.0%
6. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はなるべく家事・育児・介護サービスを利用している	0.4%	0.3%	0.5%
7. 分担するような相手はいない	20.3%	22.3%	17.3%
8. どれにもあてはまらない	24.5%	26.2%	20.8%
無回答	2.2%	1.5%	2.5%

問3 平成18年社会生活基本調査(総務省)によると、平日の家事関連時間(家事、介護・看護、育児、買い物の合計時間)は女性の3時間32分に対して、男性は30分となっています。男性が家事にあまり参加していないのはなぜだと思いますか。(いくつでも)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性		全体	女性	男性
1. 仕事が忙しく疲れるから	40.5%	43.9%	37.1%	6. 家事は女性の仕事であると考えているから	40.3%	50.3%	24.8%
2. 男性の家事参加を女性が望んでいないから	5.5%	5.2%	6.4%	7. 男性が家事をするのは世間体が悪いと考えているから	5.9%	6.4%	5.0%
3. 勤務時間が長く、家にいる時間が少ないから	62.8%	64.0%	62.4%	8. 家事の仕方がよくわからないから	32.6%	37.2%	26.2%
4. 家事をする手が足りているから	4.6%	5.2%	4.0%	9. その他(具体的に:)	6.2%	6.1%	6.4%
5. 子どものときから家事をするようにしつけられていないから	37.4%	48.5%	19.3%	わからない	2.4%	1.5%	3.5%
				無回答	1.5%	0.9%	1.0%

問4 父親の子育て参加が少ないと言われていています。その理由は何だと思いませんか。

(いくつでも)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 子どもとのコミュニケーションのとり方(話題、遊び)がわからない	24.5%	28.7%	18.3%
2. 子どもの世話の仕方がわからない	22.9%	29.0%	14.4%
3. 子どもと接する時間がない	69.8%	73.2%	65.8%
4. 父親が子育てに関われる場面が少ない	24.4%	25.6%	23.8%
5. 子育てをしている父親同士の交流が少ない	29.3%	32.6%	25.7%
6. 子育てに関心が持てない	9.5%	10.7%	7.4%
7. その他(具体的に:)	9.3%	7.9%	11.9%
8. わからない	6.0%	5.2%	6.4%
無回答	3.3%	3.0%	2.0%

問5 父親が子育てにもっと関わるためには、何が有効だと思いませんか。(3つまで)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 職場で父親が育児休業・育児時間を積極的に取得できるような制度を導入する	54.9%	57.9%	53.0%
2. 父親を対象とした育児教室を開く	13.0%	13.1%	12.4%
3. 父子で参加できる催し物を開催する	31.0%	31.7%	30.2%
4. 地域の催しやスポーツ活動のリーダー等に積極的に父親を呼び込む	17.2%	15.2%	20.3%
5. 父親同士が交流できる催し物を開催する	16.3%	14.9%	19.3%
6. 社会全般に父親が子育てに関わるのはあたりまえという風潮をつくる	65.0%	74.4%	51.5%
7. その他(具体的に:)	7.1%	5.2%	10.9%
8. わからない	4.4%	4.0%	4.5%
無回答	2.7%	2.1%	1.5%

問6 武蔵野市には、子育てを支援してほしい人(利用会員)と子育てを支援する人(協力会員)の相互理解と信頼のもとに、地域や家庭の子育てを支援する会員制の保育サービス(有料)を行う民間団体があります。あなたはこのような保育サービスがあることを知っていますか。(1つに)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 利用会員として利用している	2.7%	2.7%	3.0%
2. 協力会員として参加(協力)している	0.5%	0.6%	0.5%
3. 知っているが、利用または参加(協力)はしていない	21.8%	27.4%	13.9%
4. 知らない	70.0%	64.3%	80.2%
無回答	4.9%	4.9%	2.5%

問6-1 (問6で「3」、「4」と回答した方に)

あなたは、このような保育サービスを利用したり、参加(協力)したいと思いませんか。(1つに)

全体(n=501) 女性(n=301) 男性(n=190)

	全体	女性	男性
1. 利用会員として利用したい	22.2%	25.9%	16.3%
2. 協力会員として参加(協力)したい	23.8%	25.9%	20.0%
3. 利用も参加(協力)もしたいとは思わない	43.9%	37.2%	54.2%
無回答	10.2%	11.0%	9.5%

問7 あなたは、ご家族を介護したご経験がありますか。(1つに)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 介護をした経験がある・現在介護をしている	35.7%	36.6%	33.7%
2. 介護をした経験はない	61.0%	59.8%	65.3%
無回答	3.3%	3.7%	1.0%

問7-1 (問7で「1」と回答した方に)

ご家族の介護で、どのようなことが不安でしたか(不安ですか)。

全体(n=195) 女性(n=120) 男性(n=68)

	全体	女性	男性
1. 介護者の肉体的な負担が大きいこと	54.9%	55.0%	54.4%
2. 介護者の精神的な負担が大きいこと	60.5%	60.8%	58.8%
3. 介護に要する経済的な負担が大きいこと	31.3%	29.2%	33.8%
4. 家を留守にできない、自由に行動できないこと	40.5%	45.0%	32.4%
5. 介護をするために、仕事を辞めなければならなくなる	15.9%	18.3%	11.8%
6. 主な介護者の他に、助けてくれる家族・知人がいないこと	10.8%	15.0%	1.5%
7. 介護に必要な知識が少ないこと	13.3%	11.7%	16.2%
8. 介護サービスについての情報が少ないこと	14.9%	14.2%	14.7%
9. その他(具体的に:)	5.6%	6.7%	4.4%
10. 特に困らない	2.6%	3.3%	1.5%
11. わからない	1.0%	0.0%	2.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%

問8 現在、介護は主として女性が担っていることが多いと言われています。あなたは、男性が女性とともに介護を担っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(3つまで)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 男性が介護休業制度を利用しやすくする	53.3%	54.0%	54.0%
2. 労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイムの導入などを進めるよう企業に働きかける	51.6%	53.4%	51.0%
3. 男性のための介護講座を開催する	12.5%	10.1%	15.8%
4. 男性自身が介護に取り組む意識を持つよう啓発活動を行う	26.2%	30.8%	18.8%
5. 男性が気軽に介護の問題について相談できる窓口を設ける	14.5%	11.9%	18.8%
6. 家族の間で介護について十分に話し合う	32.6%	37.2%	26.2%
7. 社会全般に男性でも介護をするのはあたりまえという風潮をつくる	51.6%	59.1%	40.6%
8. その他(具体的に:)	3.5%	1.5%	6.9%
9. わからない	2.2%	1.8%	3.0%
無回答	3.1%	2.7%	1.5%

フレックスタイム制：総労働時間だけを決めて、出退勤の時刻は労働者の自由に任せる制度

仕事についておたずねします

問9 あなたは現在収入のある仕事(パート・自営・内職・臨時を含む)をしていますか。

(1つに)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 正社員・正職員	36.3%	24.4%	56.9%
2. 非正社員で週35時間以上働いている	10.8%	12.2%	8.4%
3. 非正社員で週労働時間は35時間未満	11.5%	16.5%	3.5%
4. していない	36.8%	42.4%	27.7%
無回答	4.6%	4.6%	3.5%

問9-1 (問9で「1」、「2」、「3」と答えた方に)

あなたが働いているのは主に何のためですか。(いくつでも)

全体(n=320) 女性(n=174) 男性(n=139)

	全体	女性	男性
1. 家庭の主たる収入を得るため	61.6%	42.5%	86.3%
2. 家計補助のため(住宅ローン・教育費など)	18.4%	23.6%	12.2%
3. 家業だから	5.9%	6.3%	5.0%
4. 病気や老後などに備えて貯蓄するため	27.2%	21.8%	34.5%
5. 経済的に自立したいから	28.4%	36.8%	17.3%
6. 仕事を通して社会とのつながりがほしいから	39.7%	47.1%	30.9%
7. 働くのが楽しいから	28.1%	34.5%	21.6%
8. 自己の能力や人格を高め、成長するため	33.8%	39.7%	28.1%
9. 自分の能力・技能を生かしたいから	32.2%	37.4%	27.3%
10. 仕事を通してもっと友人を得たいから	10.3%	10.3%	10.8%
11. 時間の余裕があるから	6.3%	9.2%	2.2%
12. 家に閉じこもってたくないから	22.2%	27.6%	15.8%
13. 自分の自由になるお金を得るため	32.5%	43.1%	20.1%
14. 職業をもつのはあたり前だから	32.2%	30.5%	34.5%
15. その他(具体的に:)	4.1%	4.0%	4.3%
16. わからない	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%

問10 職場で性別による差別があると思いますか。(1つに)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 現実に今の職場である	8.4%	7.0%	10.9%
2. 社会一般を見るとあると思う	65.0%	69.5%	58.9%
3. ないと思う	17.0%	13.4%	23.3%
無回答	9.5%	10.1%	6.9%

問10-1 (問10で「1」「2」と答えた方に)

次にあげたようなことがらの中で、あなたが実際に見たり、経験したことはありますか。(いくつでも)

全体(n=401) 女性(n=251) 男性(n=141)

	全体	女性	男性
1. 女性の採用は、パート・アルバイト・嘱託の形が多い	40.1%	42.6%	37.6%
2. 同時期に入社して同じ仕事をして、女性の賃金は男性より低い	30.2%	33.5%	24.1%
3. 女性は責任のある仕事をさせてもらえない	20.0%	16.3%	27.7%
4. 定年の年齢に男女差がある	4.0%	3.2%	5.7%
5. 男女で昇進の機会や速さが異なる	37.4%	37.8%	38.3%
6. 男女で研修の機会や内容が異なる	11.5%	12.7%	9.9%
7. お茶くみ、雑用は女性に割当てられている	36.9%	43.8%	24.8%
8. 無神経・当人は自覚していないセクシュアル・ハラスメントがある	27.9%	31.5%	21.3%
9. 女性は長期間勤められない雰囲気がある	20.9%	19.1%	23.4%
10. 男性にも家事や子育て・介護などの責任があることを理解してもらえない	25.4%	28.7%	19.9%
11. その他(具体的に:)	6.5%	4.8%	9.9%
12. 特になし	5.0%	2.4%	8.5%
無回答	2.2%	2.8%	0.7%

問11 女性が仕事を続けていく場合、どのような障害があると思いますか。(いくつでも)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 女性が長く勤めることに反対する職場の雰囲気	20.7%	21.3%	19.3%
2. 育児・介護休業などに関する職場の上司や同僚の無理解	46.5%	47.6%	47.0%
3. 育児・介護休業などの休業中の所得保障	41.8%	44.5%	39.1%
4. 長時間労働を容認する職場の雰囲気	29.1%	32.0%	25.2%
5. 保育園や学童保育などの不備	47.6%	49.7%	46.5%
6. 夫や家族の反対や無理解	20.5%	23.8%	16.3%
7. 夫の転勤や本人の転勤	22.7%	22.9%	23.8%
8. 病人および高齢者の看護・介護	34.8%	39.9%	28.2%
9. その他(具体的に:)	5.3%	4.0%	7.9%
10. 障害はない	1.5%	0.9%	2.0%
11. わからない	4.4%	3.0%	5.0%
無回答	5.3%	4.6%	4.5%

問 12 従来は正社員が担ってきた基幹的な仕事を、パートや派遣など非正社員が担うことが増えています。あなたは、それについてどのようにお考えですか。(3つまで)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 同じことをやるのであれば時間給にならしたら同じになるようにすべき	41.6%	41.5%	42.6%
2. せめて雇用保険や社会保険は完全に加入できるようにすべき	55.7%	56.7%	56.9%
3. 労働基準法に定められた有給休暇などはきちんと取らせるべき	37.2%	40.5%	32.7%
4. 福利厚生は正社員と同じ扱いにすべき	25.1%	23.2%	29.2%
5. 長期間継続雇用をすべき	24.0%	24.1%	23.8%
6. 労働基準法などに定められたパートタイマーでも主張・行使できる権利について、明確に教えるべき	19.6%	19.8%	19.3%
7. 正社員とパートタイマーなどを差別する意識はなくすべき	24.7%	26.2%	21.8%
8. 労働組合にもっと積極的に加入しなければ、処遇の改善はありえない	5.7%	5.2%	6.9%
9. その他(具体的に:)	4.6%	3.7%	6.4%
10. わからない	5.3%	6.4%	2.5%
無回答	3.3%	3.7%	1.5%

問 13 子育て、介護、家事などのために一時期家庭に入った女性が再就職を希望する場合、どのような援助や対策が役に立つと思いますか。(3つまで)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 再雇用制度	51.8%	48.2%	59.9%
2. 育児・介護休業制度	38.6%	34.5%	47.0%
3. 子育てや介護のための短時間勤務制度、又はフレックスタイム制度	52.9%	57.0%	48.5%
4. 再就職のための講座やセミナー	6.8%	7.6%	5.4%
5. 再就職のためのキャリアカウンセリング	5.3%	5.2%	5.4%
6. 再就職のための職業訓練にかかる費用の助成制度	10.8%	11.6%	9.9%
7. 保育所、学童保育など子育てしやすい環境の充実	50.2%	54.6%	44.6%
8. ホームヘルパーや介護福祉施策の充実	16.1%	17.4%	14.4%
9. (通勤時間が短い) 地元地域での求人情報の提供	13.4%	15.9%	9.4%
10. 家族の理解と協力	22.9%	24.1%	19.8%
11. その他(具体的に:)	1.5%	0.6%	2.5%
12. 特に必要な援助や対策はない	0.2%	0.3%	0.0%
無回答	4.0%	4.3%	2.0%

問 14 仕事と生活（家庭、余暇、地域活動、自己啓発などを含む）のバランスを保ち、仕事と生活のいずれも犠牲にすることなく自己実現をめざす社会の形成に向けて、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の推進が求められています。あなたは「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という言葉を見聞きしたことがありますか。（1つに ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性		全体	女性	男性		全体	女性	男性
1. ある	38.1%	32.9%	48.0%	2. ない	56.4%	61.6%	48.5%	無回答	5.5%	5.5%	3.5%

問15 あなたは、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」のために必要なものは何だと思えますか。（3つまで ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 労働法等の法制度を変えること	15.0%	10.4%	22.3%
2. 保育・介護サービスが向上すること	24.4%	25.9%	22.3%
3. 仕事も家庭も大切にするという意識を啓発すること	31.3%	26.8%	38.1%
4. ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業に補助金を出すこと	9.0%	7.3%	12.4%
5. フレックスタイム制度の導入など労働時間を選べるようにすること	25.3%	29.3%	20.3%
6. 男女とも残業や休日出勤を減らし、労働時間が短縮されること	29.1%	28.7%	31.2%
7. 育児・介護などのための休暇取得や労働時間短縮のしくみが整うこと	26.0%	31.7%	18.3%
8. 育児・介護休業取得者の代わりとなる人材を補充すること	6.0%	6.1%	5.9%
9. 育児や介護のために退職した職員の復帰・再就職が可能になるような制度が整うこと	23.8%	27.1%	18.8%
10. 男女の雇用機会や昇進、待遇格差がなくなること	9.5%	8.2%	11.9%
11. 社内に保育施設が整っていくこと	9.5%	11.3%	6.4%
12. パートタイマー、契約・派遣社員などの労働条件が向上すること	18.9%	23.2%	11.9%
13. 個人が仕事や家事の能力を高め、効率的に時間を使えるようにすること	9.2%	8.8%	10.4%
14. 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識を解消すること	12.1%	15.9%	5.9%
15. 地域全体で子育てを見守り、助けあうこと	9.5%	9.1%	10.4%
16. 働いている男女が地域活動に参加しやすいよう配慮すること	4.0%	3.4%	5.0%
17. その他（具体的に： ）	4.6%	2.7%	7.9%
18. 特にない	1.5%	1.5%	1.0%
無回答	4.9%	4.9%	3.5%

社会参加についておたずねします

問16 あなたは、ここにあげたさまざまな活動の中で、どのような活動に力点を置いていますか。また、今後、もっと力点を置きたい活動はどれですか。下の選択肢の中から選び、上位3つまでの番号を下の枠の中にご記入ください。

全体(N=546)

現在、力点を置いている活動	1位	2位	3位
1. P T Aの役員や子ども会などの世話役	4.4%	1.1%	0.5%
2. 共同購入などの消費者活動	1.5%	2.0%	1.8%
3. 環境保護・教育問題などの市民運動	3.8%	3.3%	2.9%
4. 高齢者や障害者のための活動	7.5%	4.4%	2.7%
5. 在住外国人支援のための活動	1.3%	0.9%	1.3%
6. 子どもの見守りや子育て支援の活動	3.8%	5.3%	2.9%
7. I Tなど仕事で培った知識や経験を活かした活動	1.5%	3.3%	2.4%
8. 趣味、スポーツ、習い事	28.4%	11.9%	4.0%
9. 自己啓発のための学習活動	6.8%	14.1%	7.5%
10. コミュニティセンターや自治会・商店会などの活動	1.5%	1.6%	2.6%
11. 市や都から委嘱された委員	0.5%	0.5%	0.7%
12. N P O活動への参加	1.5%	1.1%	2.4%
13. シルバー人材センターでの活動	0.7%	0.7%	1.5%
14. その他(具体的に:)	2.2%	1.1%	0.5%
15. 特にない	22.5%	2.0%	4.9%
無回答	12.1%	46.5%	61.2%

女性(n=328)

現在、力点を置いている活動	1位	2位	3位
1. P T Aの役員や子ども会などの世話役	6.1%	1.2%	0.6%
2. 共同購入などの消費者活動	1.5%	2.1%	1.8%
3. 環境保護・教育問題などの市民運動	3.4%	3.0%	3.4%
4. 高齢者や障害者のための活動	10.1%	3.7%	2.4%
5. 在住外国人支援のための活動	0.6%	0.9%	0.9%
6. 子どもの見守りや子育て支援の活動	4.0%	6.4%	4.6%
7. I Tなど仕事で培った知識や経験を活かした活動	0.9%	3.4%	0.9%
8. 趣味、スポーツ、習い事	28.7%	13.4%	4.3%
9. 自己啓発のための学習活動	7.0%	13.4%	7.9%
10. コミュニティセンターや自治会・商店会などの活動	0.9%	1.8%	1.8%
11. 市や都から委嘱された委員	0.3%	0.3%	0.6%
12. N P O活動への参加	1.8%	1.2%	2.7%
13. シルバー人材センターでの活動	0.6%	0.9%	1.5%
14. その他(具体的に:)	3.4%	0.6%	0.6%
15. 特にない	20.4%	2.1%	4.3%
無回答	10.4%	45.4%	61.6%

男性(n=202)

現在、力点を置いている活動	1位	2位	3位
1. P T Aの役員や子ども会などの世話役	2.0%	1.0%	0.5%
2. 共同購入などの消費者活動	1.0%	1.5%	2.0%
3. 環境保護・教育問題などの市民運動	4.5%	3.5%	2.5%
4. 高齢者や障害者のための活動	2.0%	5.9%	3.5%
5. 在住外国人支援のための活動	2.5%	0.5%	2.0%
6. 子どもの見守りや子育て支援の活動	3.5%	3.5%	0.5%
7. I Tなど仕事で培った知識や経験を活かした活動	2.5%	3.5%	5.0%
8. 趣味、スポーツ、習い事	29.2%	9.4%	3.5%
9. 自己啓発のための学習活動	6.9%	15.8%	7.4%
10. コミュニティセンターや自治会・商店会などの活動	2.5%	1.5%	3.5%
11. 市や都から委嘱された委員	1.0%	1.0%	1.0%
12. N P O活動への参加	1.0%	1.0%	1.5%
13. シルバー人材センターでの活動	1.0%	0.5%	1.5%
14. その他(具体的に:)	0.5%	2.0%	0.5%
15. 特にない	26.7%	2.0%	5.4%
無回答	13.4%	47.5%	59.9%

全体(N=546)

今後力点を置きたい:	1位	2位	3位
1. P T Aの役員や子ども会などの世話役	1.6%	1.1%	0.2%
2. 共同購入などの消費者活動	0.5%	0.7%	1.8%
3. 環境保護・教育問題などの市民運動	8.8%	6.0%	4.6%
4. 高齢者や障害者のための活動	8.6%	7.9%	2.9%
5. 在住外国人支援のための活動	1.5%	2.9%	2.9%
6. 子どもの見守りや子育て支援の活動	6.4%	5.9%	6.4%
7. I Tなど仕事で培った知識や経験を活かした活動	3.5%	3.3%	2.0%
8. 趣味、スポーツ、習い事	17.9%	8.4%	5.3%
9. 自己啓発のための学習活動	10.1%	11.2%	6.6%
10. コミュニティセンターや自治会・商店会などの活動	0.7%	2.0%	2.9%
11. 市や都から委嘱された委員	1.3%	1.3%	1.1%
12. N P O活動への参加	2.2%	2.2%	2.7%
13. シルバー人材センターでの活動	1.3%	1.5%	2.7%
14. その他(具体的に:)	1.3%	0.5%	0.4%
15. 特にない	6.0%	1.5%	2.7%
無回答	28.2%	43.6%	54.6%

女性(n=328)

今後力点を置きたい:	1位	2位	3位
1. P T Aの役員や子ども会などの世話役	1.2%	1.5%	0.3%
2. 共同購入などの消費者活動	0.0%	0.6%	2.4%
3. 環境保護・教育問題などの市民運動	7.0%	4.9%	5.5%
4. 高齢者や障害者のための活動	11.3%	7.6%	2.1%
5. 在住外国人支援のための活動	0.9%	2.1%	2.4%
6. 子どもの見守りや子育て支援の活動	7.6%	6.7%	6.7%
7. I Tなど仕事で培った知識や経験を活かした活動	3.0%	3.4%	1.5%
8. 趣味、スポーツ、習い事	16.8%	9.1%	4.9%
9. 自己啓発のための学習活動	10.7%	9.8%	7.3%
10. コミュニティセンターや自治会・商店会などの活動	0.3%	1.8%	2.4%
11. 市や都から委嘱された委員	1.2%	0.6%	0.3%
12. N P O活動への参加	2.7%	1.8%	2.7%
13. シルバー人材センターでの活動	0.6%	1.5%	1.5%
14. その他(具体的に:)	1.8%	0.9%	0.3%
15. 特にない	7.0%	1.2%	2.1%
無回答	27.7%	46.3%	57.3%

男性(n=202)

今後力点を置きたい:	1位	2位	3位
1. P T Aの役員や子ども会などの世話役	2.5%	0.5%	0.0%
2. 共同購入などの消費者活動	1.0%	1.0%	1.0%
3. 環境保護・教育問題などの市民運動	12.4%	7.9%	3.5%
4. 高齢者や障害者のための活動	4.0%	8.4%	4.0%
5. 在住外国人支援のための活動	2.5%	4.0%	4.0%
6. 子どもの見守りや子育て支援の活動	5.0%	5.0%	5.9%
7. I Tなど仕事で培った知識や経験を活かした活動	4.5%	3.5%	3.0%
8. 趣味、スポーツ、習い事	20.3%	7.9%	5.9%
9. 自己啓発のための学習活動	9.9%	13.9%	5.9%
10. コミュニティセンターや自治会・商店会などの活動	1.5%	2.5%	4.0%
11. 市や都から委嘱された委員	1.5%	2.5%	2.5%
12. N P O活動への参加	1.5%	3.0%	3.0%
13. シルバー人材センターでの活動	2.5%	1.5%	4.5%
14. その他(具体的に:)	0.5%	0.0%	0.5%
15. 特にない	3.5%	1.5%	3.0%
無回答	27.2%	37.1%	49.5%

問17 武蔵野市では、市の委員会等における女性の割合は 35.1%、市議会における女性議員の割合は 23.1%（平成 20 年 4 月 1 日現在）となっています。あなたは、この数字をどのように思いますか。（1つに ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 女性の割合をもっと増やす必要がある	43.0%	46.0%	38.6%
2. 現状のままでよい	22.5%	18.9%	29.2%
3. 女性の割合はもっと少なくてよい	1.3%	0.9%	2.0%
4. その他（具体的に：)	8.4%	6.7%	11.9%
5. わからない	21.1%	24.1%	15.3%
無回答	3.7%	3.4%	3.0%

問 18 あなたは、自ら自立できる収入を得るとともに、生きがいの感じられる「新しい仕事づくり(起業やNPOなどの活動)」を身近な地域の中で行ってみたいと思いますか。

(1つに)

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 積極的にやってみたい	7.1%	4.0%	12.4%
2. 専門家の助言・手助けがあればやってみたい	13.4%	15.5%	10.9%
3. 公的機関の指導や助言などがあればやってみたい	8.2%	9.1%	6.4%
4. 行政の資金援助や低金利の融資制度があればやってみたい	5.7%	4.9%	7.4%
5. すでにやっている	5.7%	6.1%	5.4%
6. やってみたいと思わない	31.1%	32.9%	29.2%
7. わからない	22.5%	22.6%	21.8%
無回答	6.2%	4.9%	6.4%

問 18-1 (問 18 で「1」「2」「3」「4」と答えた方に)

あなたが「新しい仕事づくり」を行ってみたい理由は何ですか。

(2つまで)

全体(n=188) 女性(n=110)男性 (n=75)

	全体	女性	男性
1. 普通の仕事よりも、自分の生きがいになりそうだから	38.8%	33.6%	46.7%
2. 現在の労働環境では、自分の望む仕事につけないから	5.9%	5.5%	6.7%
3. 地域の人たちの役に立ちながら、収入を得ることができるから	43.1%	44.5%	40.0%
4. 自分の知識・経験を十分生かせるから	19.7%	16.4%	25.3%
5. 地域内に仕事があれば、家事・育児・高齢者介護等の両立がしやすいから	21.3%	30.0%	9.3%
6. 通勤時間が短くてすむから	6.9%	5.5%	9.3%
7. その他（具体的に：)	2.7%	2.7%	2.7%
無回答	10.6%	12.7%	8.0%

問 18-2 (問 18 で「1」「2」「3」「4」と答えた方に)
もし、あなたが「新しい仕事づくり」を行うとしたら、どのようなことをしてみたいと思いますか。(2つまで)

全体(n=188) 女性(n=110)男性 (n=75)

	全体	女性	男性
1. まちづくりや仕事づくりに関する研究や調査活動を行う	23.9%	16.4%	34.7%
2. 行政・企業などの広報を受注して制作する編集サービスを行う	11.7%	10.0%	14.7%
3. 学習活動、趣味の教室などを行う	28.7%	33.6%	22.7%
4. 子どもの保育や教育のニーズに応えるサービスを行う	21.8%	24.5%	17.3%
5. 高齢者・障害者のための福祉的サービスを行う	23.4%	26.4%	18.7%
6. 働く女性たちが困った時に備えての援助サービスを行う	17.0%	25.5%	4.0%
7. きめ細かい要望に応えられるお弁当づくり、喫茶店経営などを行う	10.6%	13.6%	6.7%
8. 一定の所得が得られるなら、何でもよい	9.0%	6.4%	12.0%
9. その他(具体的に:)	4.8%	2.7%	8.0%
10. わからない	3.2%	0.9%	6.7%
無回答	4.3%	4.5%	4.0%

問 18-3 (問 18 で「5」と答えた方に)

あなたは、「新しい仕事づくり」に取り組む中で、どのような支援が必要だと思いますか。(2つまで)

全体(n=31) 女性(n=20)男性 (n=11)

	全体	女性	男性
1. 専門家の助言・手助け	41.9%	50.0%	27.3%
2. 公的機関の指導や助言	12.9%	15.0%	9.1%
3. 行政の資金援助や低金利の融資制度	35.5%	30.0%	45.5%
4. 行政の事業委託などに関する情報提供	9.7%	10.0%	9.1%
5. 「新しい仕事づくり」に取り組む人たちのネットワークづくり	25.8%	25.0%	27.3%
6. その他(具体的に:)	9.7%	10.0%	9.1%
7. 必要ない	6.5%	5.0%	9.1%
8. わからない	3.2%	5.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%

配偶者間での暴力についておたずねします

問 19 配偶者間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）が問題になっています。あなたは、配偶者間での次の行動を暴力にあたると思いますか。（項目ごとに1つに ）
 配偶者とは、婚姻届を提出していないいわゆる「事実婚」のパートナー、離婚後（事実上離婚したと同様の事情も含む）の元配偶者も含まれます。以下の設問も同様。

		思暴ど う力ん にあ た る で も	思場合暴 う合とあ に あ ら な る と い 場	な暴 い力 に は あ た ら	わ か ら な い	無 回 答
全体 (N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)						
ア) 平手でたたく	全体	61.5%	27.1%	1.1%	2.2%	8.1%
	女性	60.1%	29.9%	0.9%	2.1%	7.0%
	男性	65.8%	23.3%	1.5%	2.0%	7.4%
イ) 大声で怒鳴りつける	全体	35.9%	48.2%	5.1%	2.0%	8.8%
	女性	38.4%	46.6%	4.9%	2.1%	7.9%
	男性	33.2%	51.0%	5.9%	2.0%	7.9%
ウ) 「殺す」などと言ったり、殴るふりをしたりして脅す	全体	77.1%	11.0%	1.6%	1.5%	8.8%
	女性	80.5%	9.8%	0.6%	1.5%	7.6%
	男性	72.8%	13.9%	3.5%	1.5%	8.4%
エ) 「誰のおかげで生活していると思っているのか」「甲斐性なし」などと言う	全体	58.6%	24.7%	4.8%	2.6%	9.3%
	女性	62.8%	22.6%	4.0%	2.4%	8.2%
	男性	53.0%	28.7%	6.4%	3.0%	8.9%
オ) 外出を制限する	全体	48.7%	30.8%	7.5%	4.4%	8.6%
	女性	50.9%	31.4%	5.8%	4.6%	7.3%
	男性	47.0%	31.2%	9.4%	4.0%	8.4%
カ) 交友関係や電話、メールを細かく監視する	全体	52.7%	26.7%	6.2%	5.3%	9.0%
	女性	56.1%	25.0%	5.8%	5.2%	7.9%
	男性	49.5%	29.7%	6.9%	5.4%	8.4%
キ) 何を言っても無視する	全体	48.7%	27.8%	7.5%	6.6%	9.3%
	女性	54.3%	23.8%	7.3%	5.8%	8.8%
	男性	42.1%	35.1%	7.4%	7.4%	7.9%
ク) 性的な行為を強要する	全体	67.9%	17.6%	1.1%	4.0%	9.3%
	女性	69.5%	16.8%	1.2%	4.3%	8.2%
	男性	68.3%	18.3%	1.0%	3.5%	8.9%

問 20 あなたは、配偶者間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）について見聞きしたことがありますか。（いくつでも ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 被害にあっている人を知っている	16.3%	20.4%	9.9%
2. 自分が直接に被害を受けたことがある	5.5%	9.1%	0.0%
3. 人づてに聞いたことがある	20.1%	20.7%	19.8%
4. テレビ・新聞・本・雑誌など、メディアを通してなら知っている	66.1%	63.4%	71.3%
5. ドメスティック・バイオレンスという言葉自体を知らない	1.6%	2.1%	1.0%
6. その他（具体的に：)	1.5%	2.1%	0.5%
7. 見聞きしたことはない	10.8%	9.1%	13.9%
無回答	3.8%	2.7%	3.5%

問 21 あなたは、家庭のことや夫婦関係、生き方などさまざまな問題を抱えたとき、どこに相談していますか。(いくつでも)

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 市の相談機関(母子・女性相談、法律相談、家庭のもめごと相談など)	8.1%	8.5%	7.4%
2. 民間の相談機関(弁護士、NPOなど)	6.2%	6.1%	6.4%
3. 都の相談機関(東京ウィメンズプラザ、東京都女性相談センターなど)	2.0%	2.4%	1.0%
4. 友人、知人	56.4%	63.1%	47.0%
5. 家族、親戚	48.4%	52.1%	43.6%
6. 誰にも相談しない	11.4%	8.8%	15.3%
7. どこに相談していいかわからない	4.6%	3.0%	6.9%
8. その他(具体的に：)	4.8%	4.9%	5.0%
無回答	6.4%	5.5%	5.4%

問 22 あなたは、配偶者間での暴力(ドメスティック・バイオレンス)の対策や防止のために、今後、市の施策としてどのような事業が必要だと思えますか。(3つまで)

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 被害者を一時的に保護する施設(シェルター)を増やす	40.7%	42.7%	38.1%
2. 相談窓口を増やすなど相談しやすい条件整備をする	52.9%	49.1%	60.4%
3. 被害の実態や被害者の支援策を市民に広く知らせる	16.7%	16.2%	18.3%
4. 被害者に対する自立支援(子どもの教育、住宅の確保、就労支援など)を行う	39.2%	49.7%	23.3%
5. 被害者支援に携わるもの(警察、医師、相談機関職員など)の意識向上を図る	33.3%	33.2%	34.7%
6. 被害者支援活動(シェルターや自助グループの運営など)を実施している民間機関を支援する	17.2%	19.2%	14.9%
7. 加害者に対する再発防止教育を行う	22.5%	23.8%	20.8%
8. 青少年に対する暴力防止教育を行う	18.3%	18.9%	17.8%
9. その他(具体的に：)	3.5%	1.8%	5.9%
10. わからない	4.6%	4.0%	5.4%
無回答	4.2%	3.4%	3.5%

自助グループとは被害者同士が集まって意見を交換し、互いに援助しあう集団

男女平等についておたずねします

問 23 男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法といった法律の整備がすすめられるなど、男女平等に関する動きが高まっています。あなたは男女平等に関する動きについてどの程度関心をお持ちですか。(1つに)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 強い関心を持っている	10.8%	10.4%	11.9%
2. ある程度関心を持っている	59.3%	61.6%	57.9%
3. あまり関心を持っていない	17.9%	16.8%	19.8%
4. まったく関心を持っていない	2.4%	2.1%	3.0%
5. わからない	4.6%	5.2%	3.5%
無回答	4.9%	4.0%	4.0%

問 24 あなたは、ここにあげている武蔵野市の施策や、男女共同参画に関することがらを知っていますか。(項目ごとに、1つに)

			知 内 容 ま で 一 応	あ ら う い た こ と は	知 ら な い	無 回 答
全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)						
武蔵野市の施策	ア) 情報誌「まなこ」の発行	全体 女性 男性	13.4% 17.1% 7.9%	19.6% 22.3% 15.3%	59.9% 54.3% 71.3%	7.1% 6.4% 5.4%
	イ) 武蔵野市男女共同参画計画	全体 女性 男性	2.6% 2.1% 2.5%	25.1% 26.5% 24.8%	63.9% 63.4% 66.3%	8.4% 7.9% 6.4%
	ウ) むさしのヒューマン・ネットワークセンター	全体 女性 男性	3.1% 2.7% 3.5%	29.7% 36.0% 21.3%	57.9% 52.4% 67.8%	9.3% 8.8% 7.4%
	エ) 武蔵野市男女共同参画講演会・講座	全体 女性 男性	2.0% 1.5% 3.0%	20.7% 23.2% 17.8%	67.4% 65.9% 71.3%	9.9% 9.5% 7.9%
	オ) 法律相談	全体 女性 男性	12.1% 14.0% 9.9%	50.9% 54.0% 47.5%	29.9% 25.9% 36.6%	7.1% 6.1% 5.9%
	カ) 母子・女性相談	全体 女性 男性	8.6% 11.0% 5.0%	42.7% 47.6% 37.1%	39.4% 33.2% 49.5%	9.3% 8.2% 8.4%
	キ) 人権身の上相談	全体 女性 男性	6.8% 7.0% 6.4%	35.7% 38.4% 33.7%	48.5% 46.3% 52.5%	9.0% 8.2% 7.4%
	ク) 家庭のもめごと相談	全体 女性 男性	4.8% 6.1% 2.5%	35.0% 37.2% 33.7%	50.5% 47.6% 56.4%	9.7% 9.1% 7.4%
男女共同参画に関することがら	ケ) 男女雇用機会均等法	全体 女性 男性	37.5% 35.1% 43.1%	37.9% 41.2% 34.2%	15.9% 15.5% 16.3%	8.6% 8.2% 6.4%
	コ) 育児・介護休業制度	全体 女性 男性	36.4% 36.0% 38.6%	37.2% 39.6% 34.2%	17.6% 16.2% 20.3%	8.8% 8.2% 6.9%
	サ) 男女共同参画社会基本法	全体 女性 男性	10.3% 7.3% 15.3%	36.8% 38.4% 36.6%	44.1% 45.7% 41.6%	8.8% 8.5% 6.4%
	シ) 配偶者暴力防止法(DV防止法)	全体 女性 男性	22.9% 23.2% 23.8%	44.7% 46.3% 43.6%	23.6% 22.3% 25.7%	8.8% 8.2% 6.9%
	ス) セクシュアル・ハラスメント	全体 女性 男性	43.6% 43.3% 46.5%	32.6% 33.2% 32.2%	15.2% 15.2% 14.9%	8.6% 8.2% 6.4%

問 25 児童・生徒の男女平等の意識を育てるために、学校教育で必要な取り組みは何だと思えますか。(3つまで)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 男女が協力して物事を進める必要性を学ぶこと	56.4%	59.5%	54.5%
2. 一人ひとりの個性や立場を尊重することを学ぶこと	57.7%	59.8%	55.4%
3. 家庭や家族の多様なあり方について学ぶこと	46.2%	45.4%	47.5%
4. 男女ともに切磋琢磨できる部活動を増やしていくこと	9.0%	9.8%	7.9%
5. 生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮すること	38.1%	42.7%	32.2%
6. 教員に男女平等の研修を推進すること	16.3%	15.9%	16.8%
7. 管理職(校長や副校長)に女性を増やしていくこと	14.7%	15.2%	14.4%
8. その他(具体的に:)	3.7%	1.8%	6.9%
9. 特にない	0.5%	0.9%	0.0%
10. わからない	2.4%	2.1%	3.0%
無回答	4.6%	3.4%	3.5%

アンケート実施時は、「副校長」を「教頭」と記載。

問 26 あなたは、男女共同参画社会を実現するための市の施策として、どのようなことを望みますか。(3つまで)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 男女共同参画への理解を深めるための講習会や学習機会の充実	20.5%	15.9%	28.2%
2. 男女共同参画問題総合相談窓口の創設	8.6%	6.7%	11.4%
3. 女性をとりまくさまざまな問題の実態調査や研究の実施	22.3%	25.9%	17.8%
4. 男女共同参画問題などについての情報誌や資料コーナーの充実	10.1%	9.5%	10.9%
5. むさしのヒューマン・ネットワークセンターの充実	5.1%	5.5%	5.0%
6. 就業で役立つ訓練・相談の実施	17.0%	18.6%	13.9%
7. 男女共同参画条例や男女共同参画宣言の制定	5.1%	4.3%	6.9%
8. 男女共同参画行動計画の推進とPRの強化	19.2%	17.4%	22.3%
9. 保育・介護制度の充実	45.1%	48.8%	40.1%
10. 女性の健康対策の充実	8.2%	11.6%	3.5%
11. 学校での男女平等意識を育てる教育の推進	26.2%	27.7%	25.2%
12. 配偶者間での暴力(ドメスティック・バイオレンス)の対策	6.8%	6.7%	6.4%
13. 市の審議会などへの女性の登用推進	8.4%	9.5%	7.4%
14. その他(具体的に:)	1.6%	0.6%	3.5%
15. 特にない	3.3%	2.1%	5.4%
16. わからない	8.6%	9.8%	7.4%
無回答	5.7%	4.6%	5.0%

問 27 武蔵野市では、男女共同参画社会づくりの拠点として「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」(武蔵境市政センター2階)を開設しています。あなたが、「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」に期待するものは何ですか。(3つまで)

全体(N=546) 女性(n=328) 男性(n=202)

	全体	女性	男性
1. 講座やシンポジウムなどの事業が充実していること	15.9%	16.5%	16.3%
2. 男女平等を推進するうえで必要な情報を提供すること	27.8%	25.9%	33.2%
3. 自主的な活動のために会議室や印刷室が自由に使えること	8.4%	9.1%	7.9%
4. さまざまな活動をしている個人やグループの交流・情報交換の場と支援があること	25.1%	23.5%	29.7%
5. 起業セミナーや職業訓練など、女性の就業支援を行うこと	18.7%	22.9%	13.4%
6. 男性の意識改革・生活技術(家事・介護など)の向上のための講座が充実していること	23.3%	24.1%	23.8%
7. 講座に参加する時に、幼児を預かってくれること	16.7%	20.4%	11.9%
8. 問題解決のための総合相談窓口があること	23.4%	25.3%	22.3%
9. 情報発信のホームページが充実していること	12.8%	11.9%	15.3%
10. 特に期待するものはない	11.0%	10.4%	12.4%
11. その他(具体的に:)	2.7%	1.8%	4.5%
無回答	10.8%	9.1%	6.9%

問 28 あなたが日頃から男女平等や男女共同参画について感じていること、市の施策についてのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

基本項目（フェイスシート）

F 1 あなたの性別はどちらですか。（1つに ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

1. 男性	37.0%	2. 女性	60.1%	無回答	2.9%
-------	-------	-------	-------	-----	------

F 2 あなたの年齢はいくつですか。（1つに ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性		全体	女性	男性		全体	女性	男性
1. 20～29歳	9.2%	11.0%	6.9%	3. 40～49歳	17.0%	17.4%	17.8%	5. 60～69歳	19.8%	19.5%	21.8%
2. 30～39歳	18.7%	20.4%	17.3%	4. 50～59歳	15.0%	14.9%	16.3%	6. 70歳以上	17.8%	16.8%	19.8%
								無回答	2.6%	0.0%	0.0%

F 3 あなたは結婚していらっしゃいますか。（1つに ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

1. 未婚			2. 既婚(配偶者あり)			3. 既婚(配偶者なし)			無回答		
全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
22.3%	23.2%	22.8%	60.6%	57.9%	69.8%	13.0%	18.0%	5.9%	4.0%	0.9%	1.5%

F 3-1 （F 3で「2」と答えた方に）

あなたは、共働きですか（臨時・パートなどの有職者を含む）。（1つに ）

全体 (n=331) 女性 (n=190) 男性 (n=141)

	全体	女性	男性		全体	女性	男性
1. 共にフルタイムの正社員	15.7%	14.7%	17.0%	4. 共働きをしていない	34.7%	33.2%	36.9%
2. 一方はフルタイムの非正社員	9.1%	11.6%	5.7%	5. 夫婦とも無職	18.7%	16.3%	22.0%
3. 一方はパートタイムの非正社員	18.4%	19.5%	17.0%	無回答	3.3%	4.7%	1.4%

F 4 お宅の家族形態は、この中のどれにあたりますか。（1つに ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性		全体	女性	男性
1. 夫婦のみ（一世帯世帯）	26.9%	27.7%	27.7%	4. 親と子どもと孫（三世帯世帯）	5.7%	4.9%	7.4%
2. 親と未婚の子ども（核家族）	36.1%	37.8%	36.1%	5. ひとり暮らし	15.6%	17.7%	12.9%
3. 親と子ども夫婦（二世帯世帯）	4.9%	3.7%	7.4%	6. その他	7.5%	7.6%	7.4%
				無回答	3.3%	0.6%	1.0%

F 5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。いらっしゃるとすれば、一番下のお子さんは次のどの段階にあたりますか。（1つに ）

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性		全体	女性	男性
1. 1歳未満	2.0%	2.7%	1.0%	6. 高校生	2.2%	2.4%	2.0%
2. 1～2歳	4.0%	3.7%	5.0%	7. 短大・各種学校・大学生	3.8%	4.6%	3.0%
3. 3歳～小学校入学前	4.4%	4.6%	4.5%	8. 社会人	35.2%	33.8%	40.1%
4. 小学生	5.3%	5.2%	5.9%	9. 子どもはいない	32.2%	33.8%	31.7%
5. 中学生	2.7%	3.4%	2.0%	無回答	8.1%	5.8%	5.0%

- F 6 あなたは、武蔵野市に何年くらい住んでいらっしゃいますか。(1つに)
1度転出した方は通算年数で数えてください。

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 1年未満	4.6%	4.6%	4.5%
2. 1年～3年未満	8.6%	9.5%	7.4%
3. 3年～10年未満	18.1%	20.4%	15.3%
4. 10年～20年未満	13.2%	12.2%	14.4%
5. 20年以上	52.9%	50.6%	56.9%
6. わからない	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2.6%	2.7%	1.5%

- F 7 あなたのご職業は次のどれですか。(1つに)

全体(N=546) 女性 (n=328) 男性 (n=202)

	全体	女性	男性
1. 自営業(商工、サービス)	7.9%	6.1%	10.4%
2. 専門職・自由業	16.7%	15.5%	19.3%
3. 事務系の勤め人	16.7%	13.4%	22.3%
4. 労務系の勤め人	3.7%	1.5%	7.4%
5. 会社又は団体の役員	4.6%	2.7%	7.9%
6. 専業主婦・主夫	17.6%	28.4%	0.0%
7. パートタイマー	8.8%	13.1%	1.5%
8. 学 生	0.9%	0.9%	1.0%
9. 無 職	16.3%	11.0%	24.3%
10. その他(具体的に:)	4.2%	3.7%	5.0%
無回答	2.7%	3.7%	1.0%

ご協力ありがとうございました。

返信用の封筒に、ご住所・お名前などは記入しないでください。